



## 「楽しかったね。音楽会」

校長 竹越 典子

金木犀の香りが漂う季節となりました。昇降口からは「しあわせにな～れ～♪しあわせにな～れ～♪」と低学年の子供たちが口ずさんでいる声が聞こえて来ます。下校の際、昇降口で並んでいる子供たちの声です。先日の音楽会「塚小っ子コンサート」で、他の学年が歌った曲ですが、この曲を気に入ったそうです。また、廊下では、他の曲をきれいな声で歌っている子供たちの声が聞こえてきます。音楽会が終わったあとも、学校には歌声があふれています。

音楽会では、子供たち一人一人がこれまでの練習の成果を堂々と発揮し、体育館いっぱいに素晴らしい歌声と演奏を響かせてくれました。とても感動しました。毎日の練習でスキルをどんどん高めていく姿に、改めて、塚小っ子の「たくましさ」を感じ、嬉しく思いました。子供たちの笑顔も輝いていました。子供たちの振り返りには、「みんなで楽しめてよかった。」「一番頑張ったのはリズムを合わせるころ。」など、自分の努力だけでなく、友達と協力する楽しさやみんなで創り上げる喜びを感じ取った様子が伝わってきます。また、高学年の迫力ある演奏や美しい歌声に憧れ、下級生が「すごかった」と目を輝かせる姿も見られ、学年を越えて互いの頑張りを認め合う貴重な機会となりました。当日は保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会の委員の皆様、昨年度まで本校でお世話になった先生方にもお越しいただき、子供たちの演奏に温かい拍手を送って下さいました。中には涙を流しながら聴いてくださる方もいらっしゃいました。子供たちの一生懸命な姿が、これほど多くの方の心を動かしたことを、改めて子供たちの持つエネルギーの大きさとして感じています。学校行事には、仲間と協力し一つの目標に向かって努力する中でこそ、一人一人が大きく成長できる意味があります。今回の音楽会も、子供たちにとってかけがえのない経験となったことでしょう。これからも、一人一人の頑張りのや友達と力を合わせることの素晴らしさを大切にしながら、歩んでいきたいと思います。

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。子供たち一人一人の成長を、これからも温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。



今回の音楽会では、“自分の頑張りを自分で認める”ということを大きなテーマとして、練習・準備を進めて来ました。日々の頑張りを自分で認め、前向きに歩んできたからこそ、それが巡り巡って、保護者の皆様をはじめとする、すべての人に一人一人の大事な“想い”が伝わったのではないのでしょうか。

たった一つしかない大事な声・演奏、そして命。本音楽会を通して、それらすべての想いが伝わっていれば幸いです。

音楽専科 福田 空知